一般社団法人komorebi

# わくわくホーム「風」

## 児童発達支援　支援プログラム

〈 法人理念 〉

**共に生きる わくわく生きる** ～ たすけあい・支えあい・わかちあい ～

### 《 七色の柱 》～ 支援方針～

安心・ほっとする環境づくり
心とからだのケア
食事のサポート
可能性にチャレンジ
わくわくするアイデアを実現
きょうだい児の交流
いろんな情報をシェアリング

わくわくホームを利用する
子どもたちのことを
共に生きる仲間と捉え
「 メイト 」
と呼んでいます

（ 営業時間：12:00 ～ 18:00 ）

### 〈 プログラム 〉

| | | | |
|---|---|---|---|
| 12:30 | 到着・健康チェック | 15:00 | おやつ・注入 |
| 12:45 | 口腔マッサージ・昼食 | 16:00 | 音楽の時間 |
| 13:30 | カンガルーケア | 16:30 | 帰りの会 |
| 14:00 | 個別機能訓練・療育 | | |

### わくわく療育の特徴

| | |
|---|---|
| かたりかけ・・・ | 身の回りの環境や人への興味関心がふくらみ、愛着形成ができるよう、心を込めた言葉をたっぷり伝えています。 |
| ごろりん・・・ | 健康に過ごすために必要な休息・静養を十分にとれるように配慮しています。 |

非営利型一般社団法人 こもれび
komorebi

## 本人支援5領域

| | |
|---|---|
| 健康・生活 | ・心身の健康の把握のため、定期的な健康チェックを行い、状態を把握します。<br>・睡眠や服薬、食事等を把握し、生活リズムの安定を図ります。<br>※ 医療的ケアが必要なお子さまに関しても、ママスタッフと協力しながらご本人のペースに沿ってケアさせていただきます。 |
| 運動・感覚 | ・食事や活動時などの日常生活の中での姿勢保持が安定するよう支援します。<br>・体幹・上肢・下肢の動作の獲得や筋力維持、強化を目指します。<br>・感覚の偏りに対して、感覚統合やクールダウンを取り入れて調整を図ります。 |
| 認知・行動 | ・視覚・触覚・味覚などいろいろな感覚を刺激しながら、季節を感じる体験を取り入れ、認知機能の発達を促します。<br>・形や色、大きさなどの概念理解に努めます。<br>・個々の特性を配慮しながら、好き、心地よいが見つかるよう支援を行います。 |
| 言語・コミュニケーション | ・物事と言葉が結びつくようにいろいろな体験を通して、言語理解や自発的な感情表出を促します。<br>・話し言葉や表情、ジェスチャー、触れ合いなどを通して、思いが伝えあえるよう努めます。 |
| 人間関係・社会性 | ・ママやスタッフとの愛着関係、信頼関係が築けるよう支援します。<br>・地域の人々とのふれあいの場を作り、社会性や対人関係を意識して生活できるよう支援します。 |

## 環境支援

| | |
|---|---|
| 家族支援 | ・こどもの発達状況や特性を理解し、子育て全般の困りごとを含めた相談援助を行います。<br>・保護者や兄弟姉妹の交流の機会を提供し、子育てについての情報交換を行い、相談しやすい環境を作ります。 |
| 移行支援 | ・将来的な移行を見据えて、支援目標や支援内容を設定します。 |
| 地域支援・地域連携 | ・学校や病院、他事業所との情報提供や連絡調整、支援方法や環境調整の相談援助を行います。<br>・防災を含めた地域住民や関係機関と連携に努めます。 |
| 職員の資質向上 | ・職員の、運営に係る資格取得やキャリアアップ研修、専門研修への参加を支援します。<br>・感染症対策や虐待防止、身体拘束など、法定研修をはじめとした内部研修を実施します。 |
| 主な行事 | ・年1回　わくわくおぢばがえり　わくわくの日　七夕　花見　など<br>・月1回　野菜にさわろう<br>わくわくコンサート（ビオラ、ハープ、クラリネットなど） |